

★ 特記事項

- 木材の寸法(断面)の書き方順位について。

古き時代からの書き方では、見て一番に見える面(見付け)、次に見込の寸法を書く順位が慣わし(習慣)であった。現在は書き方がまちまちになってきている。

総合的に考えて、書き方順位を、横(幅)×縦(成・高さ)が主流となっているので、木材の寸法(断面)も書き方順位を統一すればよく分かりやすい。

- 木材の定尺長さにについて。

- 普通定尺長さ、～ 2m・3m・4m。
- 長尺定尺長さ、～ 5m・6m。-----

- 木材の材積の計算について。

材積計算、単積(本・m³)を算出纏め、材積(数量)計算とする。纏める方について、

m³計算、単積計算、小数点4位迄。(5位を4捨5入)とすること。

石計算、単積計算、小数点3位迄。(4位を4捨5入)とすること。

※ 単積・材積、計算を連算しないこと。

- 合板、3・6版(3尺×6尺)について。

- 3×6板 下地合板は .900×1.800 (.600×1.800 も可)
普通合板は .910×1.820

下地合板は、表面仕上げがなされていない。厚さに微少の不揃いがある。

普通合板は、片面仕上げがされている。厚さは揃っている。

(別注では両面仕上げもある)。

- 野根板・杉皮・などの単位について。

1坪の面積～ 幅1.820mm(6尺)、長さ1.210(4尺)。